

原油価格のスイートスポットは 100ドル以下？

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

ロシア産原油の輸出量はサウジに続く規模

ウクライナ情勢によって、WTI原油先物は1バレル100ドルを超える水準にまで上昇、米国によるロシア産原油の禁輸措置への思惑から3月8日には終値ベースで123.70ドルをつけた。その後、OPECプラス(OPECと非OPEC加盟国により構成)の主要加盟国の一つであるアラブ首長国連邦(UAE)が、原油の増産に前向きとの報道がなされると急落して、先週末は109.33ドルと110ドルを切った水準で終えた。ロシア産原油は生産量では世界市場の約10%のシェアを誇り、輸出量ではサウジアラビアに続く世界2位である(2020年)。ロシア産原油がマーケットに供給されなくなると、原油の需給関係が一気に悪化するとの思惑から、原油価格を押し上げた。米国など原油を大量に消費する国にとって、原油価格の値上がりは物価高につながり、国民の生活を圧迫する。米国政府はロシアに替わる新たな原油の調達先として、原油禁輸の制裁を行っているイラン、ベネズエラと制裁解除に向けて交渉を行っている。イランへの禁輸は核開発の疑惑へとつながっているために、実現には高いハードルといえようが、一方で、新たに英国のジョンソン首相がサウジアラビアと原油増産に向けた交渉を行うとも報道されており、原油価格の上昇は、和らぐ可能性も出てきている。

産油国にと短期的には恩恵も中期的には弊害も

原油価格の更なる上昇は、OPECプラスの国々にとって、必ずしもプラスばかりではないだろう。OPECプラスの国々にはサウジアラビアなど親米政権もあるが、増産に後ろ向きの姿勢は米国との関係悪化のリスクがある。そして、懸念はなによりも脱石油の動きだろう。世界は脱化石燃料(石油)に向けて、大きく舵を切りつつあるが、原油高は脱化石燃料の動きを加速させることを予想させる。ガソリン自動車から、EV(電気自動車)、HV(ハイブリッド車)へとシフトが加速することが予想される。自動車は、市販後10年近く乗り続けられることから、現在販売されているガソリン自動車は10年先までガソリンを消費し続けることが計算出来るが、ガソリン自動車の販売の落ち込みは今後の原油需要にはマイナスとなる。産油国にとって、100ドルを超える原油高は短期的にはプラスでも中長期では必ずしもプラスの戦略とはいえないだろう。そう考えると、産油国にとっても、望ましい原油価格のスイートスポットは、1バレル100ドル以下ではないのだろうか。

東京市場マーケットデータ

2022/3/11 現在

日経平均	2万5162円
東証1部売買代金	3兆3145億円
時価総額	655兆6525億円
日経平均予想PER	12.4倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quickk

日経平均パフォーマンス

昨年来高値	3万795円	2021年9月14日
昨年来安値	2万4681円	2022年3月09日

出所: Quick

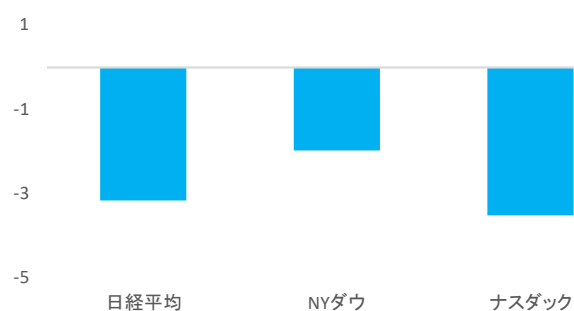
国内株式売買代金ランキング

2022/3/11 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼9.0%
2 日本郵船	0.5%
3 ソフトバンクグループ	▼6.2%
4 トヨタ	▼4.3%
5 川崎汽船	1.8%
6 商船三井	0.6%
7 東京エレクトロン	▼2.6%
8 三菱UFJHD	0.5%
9 ソニーグループ	▼2.5%
10 キーエンス	▼5.7%

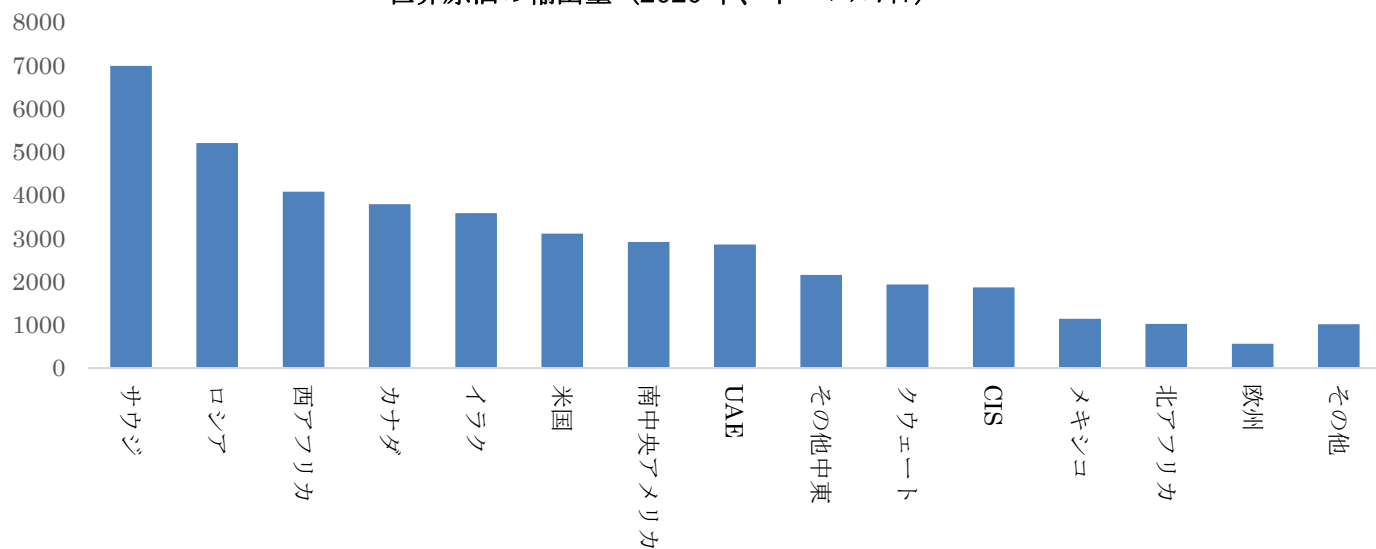
出所: Quick、アイザワ証券作成

先週の週間 主要株式指数の推移(%)



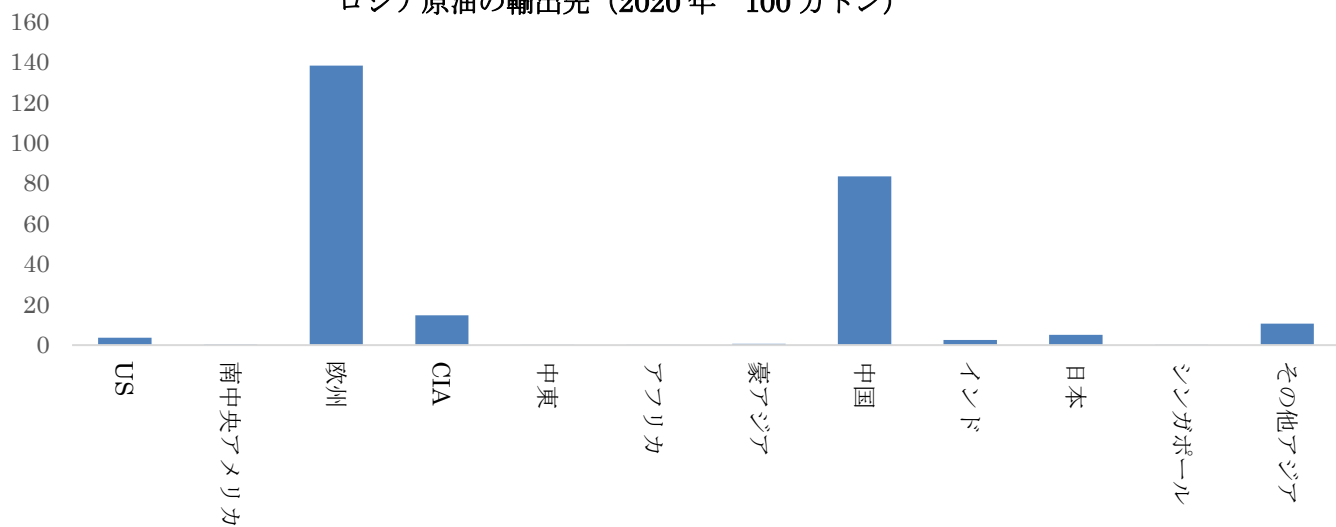
出所: Quick

世界原油の輸出量（2020年、千バレル/日）



出所:BP

ロシア原油の輸出先（2020年 100万トン）



出所:BP

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

